



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 九州リースサービス  
コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤丸 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員業務本部長

(氏名) 山下 伊佐夫

TEL 092-431-2530

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,086	13.4	388	65.5	298	74.9	348	0.3
22年3月期第2四半期	11,646	27.5	1,125	46.5	1,186	40.2	346	3.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	11.17	
22年3月期第2四半期	11.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	128,749	15,878	12.3	509.11
22年3月期	133,354	15,811	11.8	506.99

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 15,865百万円 22年3月期 15,800百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0.00		7.50	7.50
23年3月期		0.00			
23年3月期 (予想)				7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	12.8	1,000	54.4	600	70.4	700	3.9	22.46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 37,143,374株 22年3月期 37,143,374株

期末自己株式数 23年3月期2Q 5,979,431株 22年3月期 5,978,891株

期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 31,164,241株 22年3月期2Q 31,286,243株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
営業資産残高(連結)	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善によって景気は回復傾向にあるものの、設備投資需要の低迷、円高の進行など依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループでは良質資産の積み上げによる安定収益基盤の構築を目指すとともに、有利子負債の削減など財務体質の強化にも取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、リース部門の資産残高減少などにより売上高は10,086百万円(前年同期比13.4%減)となり、貸倒引当金繰入額の増加などにより、営業利益は388百万円(前年同期比65.5%減)となりました。また、前年同期に比べ投資有価証券売却益が減少したことなどにより経常利益は298百万円(前年同期比74.9%減)となりましたが、繰延税金資産の増加により四半期純利益は348百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

セグメントの業績の概要は以下のとおりであります。

#### ① リース・割賦

リース・割賦実行高は7,064百万円(前年同期比49.3%増)となりましたが、回収や流動化によるリース投資資産残高減少の影響で売上高は5,311百万円となり、営業利益は515百万円となりました。なお、リース債権及びリース投資資産残高は18,510百万円(前期末比9.2%減)、割賦債権残高は11,388百万円(前期末比7.2%増)となりました。

#### ② 融資

新規貸出の抑制や期限前回収の発生などにより貸付残高が減少し、売上高は762百万円となり、貸倒引当金繰入額の増加により496百万円の営業損失となりました。なお、営業貸付金残高は30,118百万円(前期末比14.3%減)となりました。

#### ③ 不動産

前連結会計年度から新たに連結した子会社からの増収効果もあり、売上高は3,377百万円となり、営業利益は576百万円となりました。なお、賃貸不動産残高は38,083百万円(前期末比0.4%増)、販売用不動産残高は6,946百万円(前期末比10.7%減)となりました。

#### ④ フィービジネス

生命保険の代理店手数料や不動産投資案件の減少などにより売上高は189百万円となり、営業利益は73百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は128,749百万円(前期末比3.5%減)と前連結会計年度末に比べ4,605百万円の減少となりました。これは主に営業貸付金の減少5,034百万円などです。

負債合計は112,871百万円(前期末比4.0%減)と前連結会計年度末に比べ4,671百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少8,783百万円、社債の増加4,125百万円などです。

純資産合計は15,878百万円(前期末比0.4%増)と前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,949百万円増加し13,377百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、リース債権及びリース投資資産の減少による収入1,733百万円、営業貸付金の減少による収入3,473百万円、賃貸不動産の譲渡による収入947百万円などが主要なものであり、全体では7,338百万円の資金流入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1,326百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出700百万円などにより、全体では378百万円の資金流出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ85百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に有利子負債の減少に伴うものであり、全体では5,010百万円の資金流出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ4,848百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月17日に発表いたしました平成23年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、平成22年11月11日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 販売用不動産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積る方法を採用しております。
2. 繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに重要な変更を加味したものを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は4百万円減少しております。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,427	11,518
割賦債権	11,388	10,627
リース債権及びリース投資資産	18,510	20,391
営業貸付金	30,118	35,153
賃貸料等未収入金	305	318
有価証券	—	39
販売用不動産	6,946	7,775
その他	2,123	2,230
貸倒引当金	△1,721	△1,798
流動資産合計	81,097	86,255
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産(純額)	38,083	37,919
賃貸資産前渡金	25	—
その他(純額)	9	10
賃貸資産合計	38,117	37,930
社用資産	1,402	1,427
有形固定資産合計	39,519	39,357
無形固定資産		
633		765
投資その他の資産		
投資有価証券	4,210	4,497
その他	3,298	2,490
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	7,497	6,976
固定資産合計	47,651	47,099
資産合計	128,749	133,354

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,372	727
短期借入金	61,220	66,296
1年内償還予定の社債	3,177	1,934
未払法人税等	39	51
引当金	117	123
その他	2,179	2,503
流動負債合計	68,105	71,637
固定負債		
社債	8,467	5,584
長期借入金	30,960	34,667
引当金	314	292
その他	5,023	5,361
固定負債合計	44,765	45,906
負債合計	112,871	117,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	822	822
利益剰余金	14,842	14,728
自己株式	△2,381	△2,380
株主資本合計	16,217	16,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△163	△78
繰延ヘッジ損益	△188	△225
評価・換算差額等合計	△352	△303
少数株主持分	12	11
純資産合計	15,878	15,811
負債純資産合計	128,749	133,354

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	11,646	10,086
売上原価	8,864	7,641
売上総利益	2,782	2,445
販売費及び一般管理費	1,656	2,056
営業利益	1,125	388
営業外収益		
受取利息	38	37
投資有価証券売却益	139	51
受取補償金	89	—
その他	70	72
営業外収益合計	338	162
営業外費用		
支払利息	185	168
その他	92	84
営業外費用合計	277	252
経常利益	1,186	298
特別損失		
賃貸不動産売却損	—	9
減損損失	—	91
投資有価証券評価損	150	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
特別損失合計	150	113
税金等調整前四半期純利益	1,036	184
法人税、住民税及び事業税	10	33
法人税等調整額	678	△197
法人税等合計	688	△163
少数株主損益調整前四半期純利益	—	348
少数株主利益	0	0
四半期純利益	346	348



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,036	184
減価償却費	500	496
減損損失	—	91
賃貸不動産売却損益(△は益)	—	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	438	842
引当金の増減額(△は減少)	△61	15
受取利息及び受取配当金	△50	△69
資金原価及び支払利息	1,157	1,042
投資有価証券評価損益(△は益)	150	7
投資有価証券売却損益(△は益)	△139	△43
割賦債権の増減額(△は増加)	1,494	△740
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	3,117	1,733
営業貸付金の増減額(△は増加)	1,274	3,473
販売用不動産の増減額(△は増加)	432	828
賃貸資産の取得による支出	△1,557	△1,696
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,392	644
賃貸不動産の譲渡による収入	—	947
その他	693	576
<b>小計</b>	<b>7,093</b>	<b>8,349</b>
利息及び配当金の受取額	14	33
利息の支払額	△1,090	△1,018
法人税等の支払額	△5	△26
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,011</b>	<b>7,338</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	40
社用資産の取得による支出	△17	△44
無形固定資産の取得による支出	△14	△5
投資有価証券の取得による支出	△160	△700
投資有価証券の売却及び償還による収入	258	310
出資金の払込による支出	△1	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△535	—
その他	6	24
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△463</b>	<b>△378</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,088	169
長期借入れによる収入	19,873	13,798
長期借入金の返済による支出	△21,040	△22,750
債権流動化の返済による支出	△151	△84
社債の発行による収入	—	5,057
社債の償還による支出	△5,100	△967
自己株式の取得による支出	△114	△0
配当金の支払額	△236	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,858	△5,010
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,310	1,949
現金及び現金同等物の期首残高	12,668	11,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,357	13,377

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	リース 事業 (百万円)	融資 事業 (百万円)	不動産 事業 (百万円)	フィー ビジネス 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益								
売上高	6,805	812	3,222	397	409	11,646	—	11,646
営業利益(△営業損失)	377	△6	690	319	△15	1,365	(239)	1,125

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

事業区分	事業内容
リース事業	機械設備等のリース(リースの満了・中途解約に伴う物件販売を含む)及び割賦販売
融資事業	金銭の貸付、債権の買取
不動産事業	不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資
フィービジネス事業	生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等
その他事業	ゴルフ場の管理経営等

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

リース・割賦セグメントは、機械設備等のリース及び割賦販売、融資セグメントは金銭の貸付及び債権の買取、不動産セグメントは、不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資、フィービジネスセグメントは、生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等の事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,311	762	3,377	189	9,641	444	10,086	—	10,086
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,311	762	3,377	189	9,641	444	10,086	—	10,086
セグメント利益又は 損失(△)	515	△496	576	73	669	△23	646	△257	388

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場の管理経営、物品販売等を含んでおります。

2 セグメント利益調整額△257百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 営業資産残高(連結)

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間末	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦		
ファイナンス・リース	18,510	18.7
オペレーティング・リース	9	0.0
リース計	18,519	18.7
割賦販売	11,388	11.5
リース・割賦計	29,908	30.2
融資	30,118	30.4
不動産		
オペレーティング・リース	38,083	38.5
その他	845	0.9
不動産計	38,929	39.4
合計	98,956	100.0